

日本全国 能楽 キャラバン!

銚仙会
明野公演



舞囃子
狂言
能

枕慈童
墨塗
百万

観世銚之丞
野村太一郎
清水寛二



字幕解説あり
詳しくは裏面へ

2023年 9月18日 (午後1時30分開場) 月祝 午後2時開演

明野公民館イルブリランテ
茨城県筑西市海老ヶ島2120-7
電話 0296-52-5333



入場料 [全席指定] S席 3,500円 A席 2,500円



■ カンフェティ
電話 0120-240-540 (平日午前10時~午後6時)
WEB <https://www.confetti-web.com/akeno/>
◀QRコードからアクセスできます

公演を楽しむための事前講座

9月10日(日) 午後2時 ~ 午後3時半頃

より深く、より楽しく鑑賞していただくため、
能楽師が見どころを分かりやすくお話しいたします。

- 会場 明野公民館 講座室
- 講師 清水寛二
- 入場無料 (チケット購入者対象)
*事前にご予約下さい。
*当日は公演チケットをご持参下さい。
- お申し込み・お問合せ 銚仙会(てっせんかい)
電話 03-3401-2285 (平日午前10時~午後5時)

能面・装束鑑賞
能の体験

主催：公益社団法人能楽協会、公益社団法人銚仙会 = 電話 03-3401-2285 (平日午前10時~午後5時)・ウェブサイト <http://www.tessen.org/>
共催：明野新能実行委員会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援：茨城県、筑西市、筑西市教育委員会、茨城新聞社、Lucky-FM 茨城放送、ケーブルテレビ筑西、筑西市観光協会



日本全国 能楽キャラバン!

鎌仙会 明野公演

解説

観世 淳夫

舞囃子 枕慈童

シテ 観世 鏡之丞
 笛 栗林 祐輔
 小鼓 大山 容子
 大鼓 大倉慶乃助
 太鼓 林 雄一郎
 地謡 小早川 泰輝 観世 淳夫
 青木 健一 馬野 正基
 北浪 貴裕

狂言 墨塗

シテ 大名 野村 太一郎
 アド 太郎冠者 月崎 晴夫
 小アド 女 内藤 連
 後見 岡 聡史



能「百万」 狂女百万

能 百万

シテ 狂女百万 清水 寛二
 子方 百万ノ子 安藤 継之助
 ワキ 僧 大日方 寛
 アイ 釈迦堂門前ノ者 中村 修一
 笛 栗林 祐輔
 小鼓 大山 容子
 大鼓 大倉慶乃助
 太鼓 林 雄一郎
 地謡 小早川 泰輝 鶴澤 久
 鶴澤 光 柴田 稔
 長山 桂三 西村 高夫
 北浪 貴裕 小早川 修

後見 浅見 慈一
 安藤 貴康

終演予定 午後4時頃

舞囃子 枕慈童

中国、漢の時代。菊花咲き乱れる山中に八百歳を超えるという不思議な童子が住んでいました。童子は飲めば寿命が延びるといふ、この山に湧き出る水の由来を語って舞うと、汲めども尽きぬ薬水を帝に捧げ、寿命長遠を祝すのでした。めでたく音楽的にも華やかな雰囲気溢れた能です。舞囃子では能の一曲の中心部分を紋付袴姿で上演します。

狂言 墨塗

都に長らく滞在していた大名が帰郷することになり、召使う太郎冠者を伴って馴染みの女のもとへと別れを告げに行きます。女は大名との別れを惜しんで涙を流しますが、実はその涙は女が目元に水をつけた偽りの涙。それに気が付いた冠者は一計を案じ、水入れの水と墨とを取り換えて…。男女の駆け引きを滑稽に描いて見事に笑い飛ばす狂言。

能 百万

都の僧が奈良で拾った幼子を連れて清涼寺の大念仏(大勢の人々が集まって念仏を唱える法会)へと向かいます。やがて百万という女物狂が現れると面白く念仏の音頭を取り、生き別れた我が子との再会を願って狂乱の舞を舞います。百万は夫と死別した上、幼い我が子とも生き別れとなった苦しみで狂女となったのでした。やがて取り乱したように百万は大念仏の群衆の中に我が子を探し回り、念仏を唱えて我が子との再会を祈ります。実は僧の連れられた幼子こそ生き別れた我が子だと分かり、母子は再会を喜んで都へ帰るのでした…。狂女を主人公としたいわゆる狂女物の能で、見どころ、聴きどころ多い、華やかな芸尽しの能です。



当日の解説は「能サポ」で!

お手持ちのスマートフォンやタブレットに当日の上演(能)に合わせた字幕解説が自動的に表示されます。



* 端末をマナーモード等にご設定いただき、周囲のお客様に充分ご配慮いただいた上でご利用下さい。

* 「Gマーク」アプリ(無料)をダウンロードしてご利用ください。
<http://www.g-marcapp.com/>



Android iOS対応

出演者プロフィール



かんぜ・てつじょう
観世鏡之丞
 観世流シテ方
 1956年生まれ



しみず・かんじ
清水寛二
 観世流シテ方
 1953年生まれ

観世寿夫、八世観世鏡之丞(人間国宝)、九世観世鏡之丞に師事。新作能の演出やシテも多数勤めて国内外で上演を重ねるほか、他ジャンルとの共同舞台作りにも積極的に取り組む。西村高夫と響の会を主宰。公益社団法人鎌仙会理事。



のむら・たいちろう
野村太一郎
 和泉流狂言方
 1990年生まれ

八世野村万蔵の長男。二世野村萬斎に師事。3歳で初舞台。全国での能狂言の公演に出演するほか、海外でのワークショップ及び公演にも多数参加。古典狂言への出演だけでなく新作能や楽劇「大田楽」の演出等も手掛ける。

- ・ 字幕解説のご利用時を除き、携帯電話の電源は予めお切り下さい。
- ・ 無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
- ・ 客席内でのご飲食はご遠慮下さい。
- ・ 都合により、予告なく演目・出演者等に変更のある場合がございます。